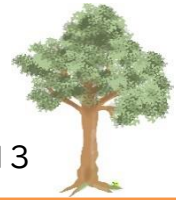




# 豊小だより

2021.9.13



夏休みが終わり、元気な子供たちが学校に戻ってきました。保護者の皆様や豊地区の方々には、感染症対策にご理解・ご協力いただき深く感謝申し上げます。県独自の緊急事態宣言の延長によって、行事の変更やご家族を含む毎日の健康観察、同居家族の風邪症状による自宅休養等々への対応に、心からお礼申し上げます。13日からは「感染拡大特別警報」に引き下げられましたが、この段階では「レベル2」の対応のままとなり、これまでと同様の感染対策を行っていかねばなりません。市内外で子供たちの感染によって臨時休業となる学校が後を絶ちません。専門家からは、ウイルスの粒子が2~3時間空間を漂う感染力の強い変異株に変化しているため、不織布マスクのような性能の高いマスクを正しく付けることが大切であると言われています。学校では、手洗い・マスクの正しい着用、換気等、でき得る限りの対策を子供たちといっしょに行って参ります。ご不便をおかけしますが、引き続き対応へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

本号では、そんな息苦しさを感ずるような状況の中、今年度から一人1台のPC端末が導入され、夏休み明け以降本格的に活用が進んでいるICT教育についてお伝えします。

## GIGA スクール構想による本校のICT教育

国が進めているGIGAスクール構想とは、一人1台の学習者用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想のことです。子どもたちの未来を見据え、創造性を育む教育の一環として、ICT環境の実現に向けた政策が推進されています。同時に、校務支援システムなどにより、教職員の働き方改革につなげていくことも目的とされています。

国の基準では、2020年度に全教室の無線LAN環境整備と学習者用コンピュータの一人1端末の導入を目指すことが決定され、本校でもこれまで配置されていたノートパソコンと今回新たに導入されたiPadを合わせて、一人1台の端末の配置がされました。学年毎に充電格納庫が教室内にあり、高学年では、毎朝担任がキャビネットの鍵を開け、自分専用の端末を取り出して、引き出しや本バックに入れて、すぐ使えるように準備するシステムも取り入れています。

Society 5.0時代\*に生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと同じように学習に必要なものとなってきます。仕事でも家庭でもICTの活用が日常的なものとなっている現状からも、一人1台の端末配置は、『令和の時代における学校の「スタンダード」になる』と言われています。子供たちがこれからの未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力の一つとして、ICTを適切・安全に使いこなすことができる情報活用能力を育成していくことが求められています。

**\*Society 5.0時代:**狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く、新たな社会を指すもの。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会を指します。



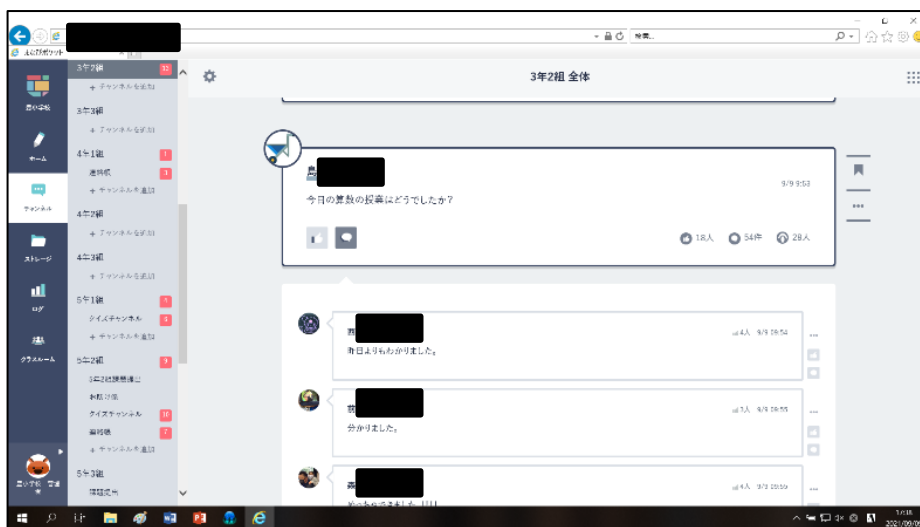
しかし、私たちが最も期待しているのは、この PC 端末とネットワークの導入が多様な子供たち一人一人に個別最適な学びや創造性を育む学びにつながり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるとい点です。一人一人の考えを、端末を通して瞬時に共有することができ、個々のスピードで学習に取り組んだり、他者の考えをヒントに自分の考えを創り上げたりすることができます。

本校では夏季休業中に全ての教職員が校内外の研修会に参加し、GIGA スクール構想が目指すものや端末の活用方法を学び、学年に応じて端末の活用を進めています。ドリル学習の助けとなるアプリを活用するだけでなく、カメラ機能を活用しての観察記録、インターネットでの調べ学習、発表の際の画像提示、英語のスピーチの自撮り録画、朝の会での連絡帳の配信等、様々な活用方法を試しています。端末を活用した学習は子供たちに大好評で、学習に取り組む意欲が劇的に向上しています。教職員も同様で、コロナ禍で制限の多い学習活動や感染対策、行事の中止等で暗くなりがちな職員室が、情報交換を盛んに行い、互いによりよい活用を学び合って、新しい指導方法の可能性に期待感をもって取り組む教職員によって活気あるものとなっています。

アプリ「まなびポケット」の活用を図った学習活動を紹介します。この「まなびポケット」は、各社のデジタル教材を利用できる他、掲示板の機能やファイルの共有、資料や課題の一斉配付ができます。例えば、今日の学習の振り返りを書くように指示を送り、一人一人が回答を



返信すると、みんなで画面を共有することができます。集計結果をグラフで示すこともできます。なかなかみんなの前で発表できない子も自分の考えを友達に伝えたりコメントをもらったりすることができます。子供たち同士でクイズを出して答え合ったりすることもできます。



今後、感染症等でお子様長期の出席停止になった場合に、iPad を自宅に持ち帰り、オンライン通信等で授業に参加することができないか検討をしています。それを見込んで、Microsoft Teams の使い方を学び始めました。これまでに培ってきた新しい学力観に基づく指導の在り方がさらに一人一人の子供たちにとってよりよいものとなるよう、様々な取組に挑戦していきたいと思ひます。

